



石岡ドルフィンクラブで相次ぐ快挙 県スポーツ少年団スポーツ大会水泳大会で6人が上位入賞

(前列左から) 椎名海斗さん(男子25m自由形第2位)、細川陽菜さん(女子50m平泳ぎ第3位)、(後列左から) 新里夏千さん(男子25m自由形第1位・男子100m個人メドレー第3位)、大金虹仁さん(男子25m平泳ぎ第2位)、金子湊さん(男子25m平泳ぎ第3位)、前島惟吹さん(男子200m個人メドレー第1位)
前島さんは大会を振り返って「腕をしっかり伸ばすことと最後まで諦めない気持ちで勝利をつかんだ。今後はターンを強化したい」と話してくれました。



▲今大会で上位入賞した石岡ドルフィンクラブの皆さん



▲(写真前列左より) 新ひたち野農協小林専務、細谷代表理事組合長、花き部会大橋部会長、県南農林事務所入野所長、新ひたち野農協鈴木営農経済部長(写真後列左より) 石岡市農政課坂主幹、小林主事、県南農林事務所砂川部門長、新ひたち野農協宮内審査役

新ひたち野農業協同組合花き部会 石岡市の小菊が 茨城県銘柄産地指定に再認定

市場における大量取引に対応できる生産・出荷体制と高い生産技術をあわせ持つ、競争力のある切り花産地を指定する茨城県銘柄産地指定で、石岡市の小菊が再認定を受けました。平成8年度より認定を受けている石岡市の小菊は、電照栽培の導入により、天候に左右されにくい安定した生産が見込まれるとのことです。新ひたち野農協細谷代表理事組合長は、今後も後継者の育成や消費者への小菊の普及に努めたいとお話されました。

高校生のeスポーツ祭典で活躍！ 菊地飛竜さんステージゼロ フォートナイト部門で準優勝

「Coca-Cola STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2023 (ステージゼロ)」のフォートナイト部門で、石岡市出身の高校1年生菊地飛竜さんが準優勝しました。現在プロチームで活動中の菊地さんは、「Nature Taylor」という名前で活躍しています。ステージゼロでは惜しくも優勝を逃したものの、トップとの差は5ポイントという僅差。来年の大会では絶対に優勝し、高校生の頂点に立ちたいですと意気込みを話してくれました。



▲将来はプロゲーマーとして大人になっても活動を続けていきたいとのことでした。今後の活躍に期待です。



子どもたちの安全を明るく照らす 関東鉄道株式会社からリフレクター（反射材）が贈呈

関東鉄道株式会社から令和6年4月に入学する新小学1年生に対して、リフレクター（反射材）が贈呈されました。この事業は茨城県警察の協力の下、関東鉄道株式会社創立100周年記念事業の一環として行われたもので、鉄道・バス路線沿線の小学生約15,400人が対象です。このうち市内の新小学1年生は434人。キーホルダー型のリフレクターには二次元コードが付与され、防犯情報や救急医療情報のポータルサイトにアクセスできます。



▲（右上）贈呈されたリフレクター（左下・写真左より）石岡警察署交通課長 濱田和義 様、関東鉄道株式会社取締役 鈴木篤 様、谷島市長、岩田教育長



▲9月20日に園部中学校で行われたブックトークの様子。園部小学校・東成井小学校の児童はオンラインで視聴しました。

読書の秋だ 本を読もう

園部小・東成井小・園部中で 三校合同ブックトーク

この取り組みはテーマを決めて本を選び、その本の面白かった点などを紹介するもので、子どもたちは7月から準備を進めてきました。三校はオンラインで互いの学校の発表を視聴。「スポーツ」をテーマに選んだ園部中学校では、図書委員会の生徒が、プロレスを通じて主人公と友人が友情を深める様子を描いた本などを紹介しました。視聴した園部小学校の児童からは「中学生が読む難しい本を読んでみたい」という感想が挙がりました。

認知症にやさしい地域を目指して 認知症講演会～認知症とともに 生きる～を開催

講師の丹野さんは、39歳の若さで若年性アルツハイマー病を発症。以来、多くの苦悩を家族や仲間と乗り越え、現在は全国各地で認知症に関する普及啓発活動を行っています。講演会では、当事者として「認知症になってもできることは沢山あるので、それらを奪わないでほしい」と訴え、参加者に対し「認知症当事者ときちんと話をしていますか?」と問いかけていました。参加者からは、「認知症への不安が楽になった」「本人の気持ちに寄り添いたい」といった声が聞かれました。



▲（左上）講師の丹野智文さん（右下）9月30日に行われた講演会にはたくさんの方が訪れました。